

2024（令和6）年度 事業報告
（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

事業概要報告

（1）教育の情報化に関する事業

1 教員研修

2024年度も引き続き全国各地で開かれている各種研修会への参加、及び講演、講師としてのワークショップの開催など積極的に行った。各地の教員と交流、意見交換などを積極的に行うことにより、全国基準の学びを北海道内に持ち帰るとともに、北海道内の実践を全国に発信することができた。

「GIGA GIG 東北 2024」（対面）

<https://sites.google.com/typet.jp/gigagigttohoku-2024/top>

「GIGA GIG 札幌 2024」（対面）

<https://peatix.com/event/3987222?lang=ja-jp>

「子どもの未来のための教育カンファレンス 2024」（対面）

<https://tamekamo.com/2024/11/24/for-kodomo-future-conference20241221/>

北海道特別支援教育ICT活用プロジェクトとは、2024年度も講座・研修会等の活動に支援および協力することができた。外部団体及び学校などと連携することで会場費や集客などで効率化を図ることができた。人数は少ないながらも様々な校種そして地域からの参加があったのは成果として捉えられる。

第32回北海道特別支援教育ICT活用PJ研修会（対面）

<https://hokkaido.tokubetsushien.com/wp/workshop/ictpj32-20240813/>

第33回北海道特別支援教育ICT活用PJ研修会（対面）

<https://hokkaido.tokubetsushien.com/wp/houga-20250215/>

2 IchigoJam プロジェクト

2024年度はコロナ禍の影響もほぼ無くなり、このプロジェクトの体験会や講座等の開催も積極的に行うことができた。他方、物価高の影響を受け材料や送料のIchigoJamプロジェクト事業は2015年度から開始して11年目となった。『子供たちに、創る楽しさを＋IT&Communication/Collaboration』をコンセプトに、モノづくりの楽しさとプログラミングを内容とした講座を実施してきた。またこの事業の実施に欠かせない「TEAM IchigoJam ほっかいどう」の運営も継続して行った。

2020年度から身近な環境観察（測定）をテーマに教材製作とコンテンツ開発を継続的に行ってきた。特に2023年度からはIoTを意識して子ども向けデータサイエンス入門講座や体験会を積極的実施してきた。昨年10月には新たなコンテンツをNPO法人小樽青少年科学技術の芽を育てる会と共同で作成した。こうした取り組みの成果の一つとして、札幌旭丘高等学校（数理データサイエンス科）生徒・教員への技術的な支援を2回行うことができた。

NPO法人小樽青少年科学技術の芽を育てる会（2016設立）への協力/支援を8年連続で行うことができた。プログラミング講座（2回×2日間）を開催した。また講座

受講生への継続的な学びの場として小樽市内の本願寺小樽別院を会場とした「寺子屋プロジェクト」を3回実施した。さらに道南 IT コミュニティ『はこだて IKA』ならびに函館市地域交流まちづくりセンターと連携して、NT 函館 2024 で出展を実施した。

まなびクラブ（北広島市西の里）から地域の子どもの向けプログラミング講座の依頼があり、参加者が教材購入してスキルアップ支援を視野に企画した。しかし主催者の都合で体験教室に変更して実施した。地域で活動する団体に対して、IchigoJam プロジェクトで得たノウハウを有効に活用した支援を行えたことはとても有意義といえる。

ジュニア・プログラミング・ワールド（JPW）と札幌市産業振興財団で、micro:bit の体験ワークショップを行い、プログラミング教育への関心が高いことから多くの参加者で賑わった。

『子ども食堂（真願寺：江別市）』に2022年度から3年間継続的に協力をした。子ども向け体験イベントの一つとして鉄道模型をプログラム制御して走行させる体験会を実施した。幼稚園児から低学年の小学生までと参加者の年齢層が低いことから体験してもらうための工夫した内容とした。

北海道科学大学との関係では、小型衛星の実機展示や、通信を模したモールス信号のデモを、北海道 技術・ビジネス交流会（ビジネス Expo）で北海道宇宙科学技術創成センター HASTIC の展示ブースや、スポカル（スポーツ&カルチャー体験の市民向けイベント）、北海道ハムフェアなどにおいて実施した。

HMU-SAT2 衛星開発に関しては、当初は、北海道科学大学 宇宙開発研究同好会の部員や、同校 三橋ゼミに所属する学生が、衛星の開発に参加する想定で、当 NP0 メンバーは、それらの学生をサポートする企画であったが、実際は、開発に参加したい学生は現れなかった。

このため、衛星の開発やクラウドファンディングは、長野県の精密加工会社である（有）工房大倉と駒ヶ根工業高等学校の「宇宙航空研究グループ」部員たちに移行して継続され、北海道内におけるアクティビティは少なかった。

2015 年度	講座： 5 回、学習会： 4 回	8 5 名
2016 年度	講座： 9 回、体験会： 2 回、出 展： 2 回	1 4 5 名
2017 年度	講座： 26 回、体験会： 4 回、出 展： 3 回	3 4 8 名
2018 年度	講座： 13 回、体験会： 5 回、出 展： 3 回	2 7 6 名
2019 年度	講座： 13 回、教 室： 10 回、体験会： 8 回、出 展： 3 回	4 2 4 名
2020 年度	講座： 9 回、出 展： 3 回	8 9 名
2021 年度	講座： 6 回、体験会： 1 回、出 展： 2 回、発 表： 1 回	1 6 2 名
2022 年度	講座： 9 回、体験会： 4 回、出 展： 1 回	2 3 7 名
2023 年度	講座： 18 回、体験会： 3 回、出 展： 3 回	4 4 4 名
2024 年度	講座： 14 回、体験会： 2 回、出 展： 3 回	4 2 9 名

(2) 地域住民情報化支援事業

1 高校生 ICT カンファレンス

2024 年 9 月 29 日に行われた、「高校生 ICT カンファレンス 2024 北海道」に協力を行った。

<https://www.good-net.jp/ict-conference/2024/hokkaido2024/>

高校生 ICT カンファレンスは、高校生が ICT にまつわるテーマを元に熟議を重ね、個々の考えを発表し、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することと、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることを目的としている。

2024 年度のテーマは「今、高校生が考える生成 AI との付き合い方 ―「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える―」であった。生成 AI の急速な発展は、利用者の情報アクセスやイメージ発信を容易にし、利便性向上に寄与しているが、一方では利用者はフィルターバブルやエコーチェンバーの広がり、偽情報や誤情報の拡散、また剽窃(ひょうせつ)や著作権侵害に直面するリスクにもさらされることになる。生成 AI の特徴について、将来の社会を担う高校生はどのように認識し、リスクを克服し、活用していくべきかを議論し、社会に提言するものとした。参加校は、北海道立石狩南高等学校、北海道立札幌白石高等学校、札幌市立札幌旭丘高等学校の 14 人であった。代表校は旭丘高等学校となった。北海道での高校生 ICT カンファレンスは 2015 年より行われており、NEXTDAY は北海道開催の当初から市民事業部が保有する PC の機材提供により協力を行っている。2024 年は機材提供で協力を行った。

高校生 ICT カンファレンスについては、安心ネットづくり促進協議会(JISPA)のページを参照頂きたい。

<https://www.good-net.jp/ict-conference/>

2 さっぽろ産業振興財団主催企画への協力

昨年度に引き続き、さっぽろ産業振興財団が主催企画した「さっぽろマイクラフト・ワークショップ」に引き続き企画運営の協力及び講師派遣を行った。全国的なマイクラフトのコンテストであるマイクラフトカップと連携し、さっぽろスマイル賞を地区大会の特別賞として設定し、そこにつながるワークショップを 2 日間に渡って開催することができた。ワークショップは各回 30 名合計 90 名の定員に対して 1000 名以上の応募があり、大盛況の中であった。

<https://sapporo-minecraft.jp/2024/>

<https://moula.jp/articles/culture/entry-5559.html>

また、上記のイベントで抽選に漏れた児童生徒に対する代替措置も兼ねて JPW2024 においてマイクラフト体験ワークショップを開催している。こちらも各回 16 名合計 10 回の定員 160 名が満員になる状況であった。

<https://j-p-w.jp/jpw2024/>

3 北海道建築士事務所協会マインクラフトワークショップへの協力

旭川デザインウィークのイベントの一つとして、一般社団法人北海道建築士事務所協会が主催の「建築設計士と一緒にマインクラフトワークショップ」を株式会社ひとまち/ひとまちアカデミー、旭川 ICT パークの依頼のもと、ワークショップ講師として企画・運営を行った。活気のあった平和通買物公園を、現存する図面を元に子どもたちにわかりやすく建築する手法を伝え、最後には出来上がったものを発表するということを行った。全国的に見ても、図面の捉え方を専門家から教えてもらいながら建築するという貴重な機会となった。

<https://www.shado-inc.co.jp/news/1831/>

4 炭鉄港マインクラフト・ワークショップへの協力

空知振興局の炭鉄港事務局より、炭鉄港の若年層への理解を深めるための一環としてマインクラフトを利用した取り組みを企画・運営していくことのサポートを依頼された。北海道教育大学岩見沢校の酒井准教授、大西准教授の研究室の学生のアイデアのもと、赤平市にある住友赤平炭鉱立坑櫓をマインクラフトで作成するとともに、そのギミックをプログラミングなどで再現するワークショップの開催を行っている。

<https://3city.net/post/17272/>

5 冬季厚沢部町 ICT スキルアップセミナーへの協力

厚沢部町教育委員会より教育版マインクラフトを使ったプログラミングとまちづくりの体験ワークショップの依頼を受け、実施した。札幌などで行っている内容を行うことで、子どもたちに都市部と変わらない知識・技能・考え方の育成および定着を図ることができた。

<https://peatix.com/event/4104796?lang=ja-jp>

事業の開催内容の詳細は、次ページ以降に記載している。

事業の実施に関する報告

(1) 教育の情報化に関する活動

1 教員研修

- (1) 第32回北海道特別支援教育 ICT 活用 PJ 研修会（対面）
令和6年（2024年）8月13日（火） 12:30～15:10
参加者 27名
- (2) 第33回北海道特別支援教育 ICT 活用 PJ 研修会（対面）
令和7年（2025年）2月15日（土） 13:00～17:00
参加者 8名
- (3) 「GIGA GIG 東北 2024」（対面）
令和6年（2024年）7月6日（土） 10:00～17:00
参加者 10名
- (4) 「GIGA GIG 札幌 2024」（対面）
令和6年（2024年）7月27日（土） 10:00～17:00
参加者 18名
- (5) 「子どもの未来のための教育カンファレンス 2024」（対面）
令和6年（2024年）12月21日（土） 10:00～18:30
参加者 100名（延べ人数）



第32回北海道特別支援教育 ICT 活用 PJ 研修会
2024/08/13 (tue)



第33回北海道特別支援教育 ICT 活用 PJ 研修会
2025/02/15 (sat)



GIGA GIG 東北

2024/07/06 (sat)



GIGA GIG 札幌

2024/07/27 (sat)



子どもの未来のための教育カンファレンス 2024
2024/12/21 (sat)



子どもの未来のための教育カンファレンス 2024
2024/12/21 (sat)



子どもの未来のための教育カンファレンス 2024
2024/12/21 (sat)



子どもの未来のための教育カンファレンス 2024
2024/12/21 (sat)

2 IchigoJam プロジェクト

- ・講座/教室 14回 221名
- ・体験/出展 5回 218名 (38+180)
- ・その他 4回
- 延べスタッフ数 270名 ○数

凡例) ■主催事業 ◆共催事業 □協力事業等

月日 (期間)	事業名	
4.29	□NT 函館 2024 函館市 50名	⑥
5.03	□鉄道模型プログラミング体験走行会 in 三笠鉄道村 三笠市 30名	⑤
5.07	◆石狩市プログラミング体験教室 打ち合わせ 石狩市	①
6.08	□micro:bit 体験教室(ロボットカー) 小樽市 8名/6名	④
7.14	□小樽寺子屋 プログラミング教室(micro:bit) 小樽市 3名	②
8.03-04	□小樽夢基金 IchigoJam プログラミング講座 小樽市 7名/11名	⑦+⑧
8.06	◆小樽市教育研究会技術部会実技講習会 小樽市 5名	①
9.14	◆テクノパークフェスタ 2024(micro:bit) 札幌市 24名	④
9.14-15	◆NT 札幌 mini 札幌市 30名	③
8.05-06	□小樽夢基金 micro:bit プログラミング講座 小樽市 8名/6名	⑦
9.25	□江別市教育委員会プログラミング体験教室 打ち合わせ 江別市	②
10.06	□小樽寺子屋 プログラミング教室(micro:bit) 小樽市 6名	③
10.12	□親子データサイエンス入門教室(micro:bit) 小樽市 5名/8名	⑥
10.25	□こども食堂 プログラミング体験会 江別市 8名	②
10.26	◆クリエイターズ★ショーケース 2024 札幌市 100名	⑦
11.23	□プログラミングであそぼう(micro:bit) 石狩市 10名	⑦
12.01	□親子プログラミング体験教室 (micro:bit) 小樽市 10名/9名	⑤
12.14-15	◆ジュニア・プログラミング・ワールド 体験講座(micro:bit) 札幌市 27名/33名	⑥
12.22	□小樽寺子屋 プログラミング教室 小樽市 7名	③
1.04-05	□小樽夢基金 micro:bit プログラミング講座 小樽市 8名/8名	⑦/⑦
2.04	□札幌旭丘高校研究発表会 札幌市	②
2.08	◆まなびークラブ プログラミング体験教室(micro:bit) 北広島市 5名/7名	④
3.10	□札幌旭丘高校研究発表会 札幌市	②



N T 函館 2024

4 月



小樽プログラミング教室

8 月



テクノパークフェスタ 2024

9 月



石狩市プログラミング体験教室

11 月



親子データサイエンス入門教室

10 月



札幌旭丘高校実践発表会

3 月

(2) 地域住民情報化支援事業

1 高校生 ICT カンファレンス

「高校生 ICT カンファレンス 2024 北海道」

2024 年 9 月 29 日（日） 11:00-17:00

熟議参加生徒 14 人、見学者 28 人（教員・教育関係者・その他） 合計 41 人
（NEXTDAY としては機材提供による協力）

開催報告書が以下の URL にありますのでご覧ください。

<https://www.good-net.jp/ict-conference/2024/hokkaido2024/>

2 さっぽろ産業振興財団主催企画への協力

「さっぽろマイクラフトワークショップ」

2024 年 7 月 13 日（土）

9 : 30～11 : 50

13 : 30～16 : 50

2024 年 7 月 14 日（日）

11 : 00～16 : 30

3 回開催 総計 90 名

「Junior Programing World 2024 マイクラフト体験会」

2024 年 12 月 14 日（土）、15 日（日） 10 : 00～16 : 45

10 回開催 総計 160 名



さっぽろマイクラフトワークショップ

2024/07/13 (sat)



さっぽろマイクラフトワークショップ

2024/07/14 (sun)



JPW2024 マイクラフトワークショップ

2024/12/14 (sat)



JPW2024 マイクラフトワークショップ

2024/12/15 (sun)

3 北海道建築士事務所協会マインクラフトワークショップへの協力

「建築設計士と一緒にマインクラフトワークショップ」

2024 年 6 月 22 日 (日)

10 : 00 ~ 16 : 00

16 名



建築設計士と一緒にマインクラフトワークショップ

2024/06/22 (sun)



建築設計士と一緒にマインクラフトワークショップ

2024/06/22 (sun)

4 炭鉄港マインクラフト・ワークショップへの協力

「炭鉄港マイクラ みんなで作るワークショップ in 赤平」

2025 年 2 月 1 日 (土)

13 : 30 ~ 16 : 45

16 名



炭鉄港マイクラ みんなで作るワークショップ in 赤平

2024/08/05 (sat)



炭鉄港マイクラ みんなで作るワークショップ in 赤平

2024/08/20 (sat)

5 冬季厚沢部町 ICT スキルアップセミナーへの協力

プログラミング講座「マインクラフトでまちづくりを考えよう」

2025 年 1 月 11 日 (土)

10 : 00 ~ 12 : 00, 16 : 00 ~ 18 : 00

20 名



マインクラフトでまちづくりを考えよう

2024/08/05 (sat)



マインクラフトでまちづくりを考えよう

2024/08/20 (sat)